

第3号

栗尾通信

発行：京都市建設局道路部道路建設課

栗尾バイパス ルート検討途中経過を報告！！



航空写真を使って説明しました

伺いました。

『途中経過報告会』では、トンネルを計画するにあたって一般的に考慮しなければならない項目や、12月に実施した『地域確認作業』で抽出された地域の課題などについての説明をした後、航空写真を見ながらそれらの位置などを再確認し、そこから京都市がどのように考え、最適とするルート案を導いたか、また、それ以外に検討した案ではどこに問題があると考えたか等について、順を追って説明していきました。

その後、皆さんからのご質問、ご意見を受け、それらに対しても京都市としての考えをお答えしました。

皆さん、土曜日のお忙しいところ、ご参加ありがとうございました。

(詳細は2・3面に記載)



生活に直結するだけに皆さん真剣でした

途中経過報告会の内容

『途中経過報告会』の内容と、皆さんからのご意見、ご質問は以下のとおりでした。

トンネル計画で一般的に考慮する内容

トンネル出入口は、地山から受ける圧力を均衡させるため、なるべく斜面に直交するように（直角に）進入することが望ましい。

トンネルが山の中を通過する場合、山からの圧力を均衡させるため、なるべく尾根部の真下近くを通過するようにする。

谷、沢筋は地質的に弱い場所が多く、断層が推定されることから、それらを長く通過する（踏んでいく）ルートは極力避け、最短距離で通過するようにする。トンネル内の事故は大災害につながるおそれがあるので、縦断勾配（傾斜）は3%程度に抑えることが望ましい。また、勾配がきつくなると車両がアクセルを踏み、排気ガスが大量に発生するため、安全面、環境面からも好ましくない。トンネル出口付近に交通危険箇所（交差点や凍結箇所）があると、事故が起こりやすい。

地域の方々から伺った地域の課題など（概要）

周山側では、極楽谷周辺が保安林指定されており、土砂災害の危険がある。また治山用のえん堤（ダム）付近から、上桂川漁協さんが養魚用の水を引かれている。また、現栗尾トンネルより北側には、歩道の狭い箇所、見通しの悪い箇所がある。

細野側では、現国道と愛宕道への交差点付近が事故多発地点であり、その交差点から元細野小学校西の信号までの現国道は、日当たりが悪く凍結危険箇所である。また、集落北側の斜面には、『忠魂碑（戦没者慰霊碑）』があり、以前は慰霊祭が行なわれていた。

京都市が検討したルートについて

地域の課題などを検討し、右ページの『最適と考えるルート』が、最も有力な案と考えている。（トンネル延長 2,295m 縦断勾配 3.2%）

『その他検討したルート』として、周山側、細野側それぞれ右ページに破線で示したルート案があったが、周山側は『保安林・土砂災害の可能性』から、細野側は『凍結・事故多発の問題』から、最適とは言い難いと考えている。

皆さんからのご質問、ご意見（主なもの）

細野側の人家の立ち退きは 数軒、対象者が出る。詳細は今後提示。

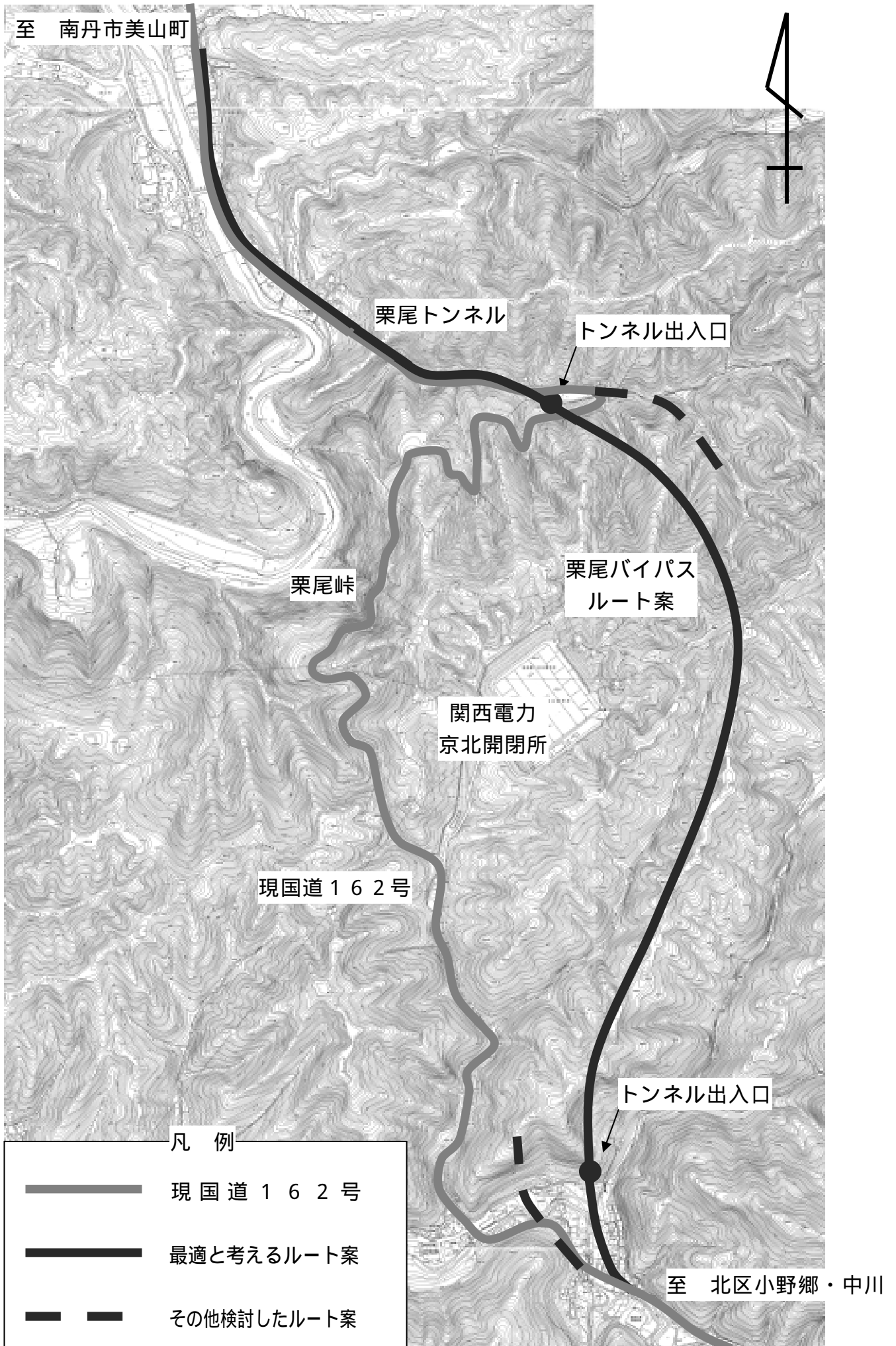
現トンネルはどうするか 周山側トンネル出入口から周山方面については、拡幅による道路整備を行う。現トンネルについても何らかの形で拡幅する。

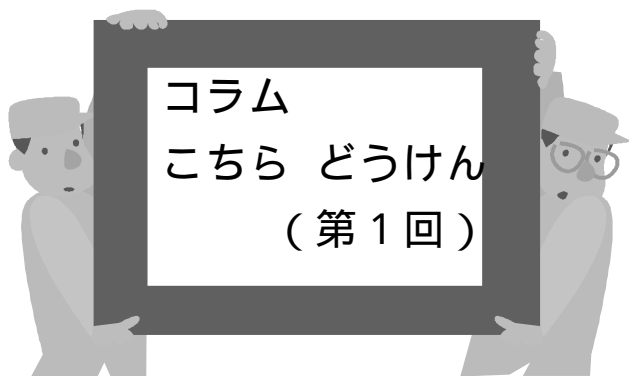
道路幅は 歩道設置の場合、トンネル内では9.5m 一般部では9.75m。

歩道を設置するか 片側歩道を考えている。ただ、トンネル内の歩道設置については現在検討中。

現道との交差部の形状は 特に細野側については、道路が直交するように今後検討する。信号についても今後、公安委員会（警察）や皆さんと考えていきたい。

トンネル内の換気計画は 通常ならば高い方（細野側）へ出るが、環境面に配慮し、換気計画については、今後、排出方向や方法について、皆さんに報告しながら検討していく。





今号から、新コーナー『こちら どうけん』の連載が始まります。

このコーナーは、栗尾バイパス整備事業に携わる京都市職員がどんなことを考えているか、また、事業にあたって検討すべきことは何か、などを各担当者が文章にしていきます。

このコーナーを読むことで私たちを少しでも身近に感じていただければ、とてもうれしく思います。

では、第一回の始まりです。

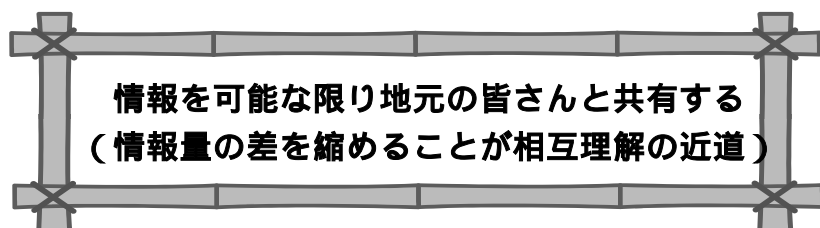
日頃は、栗尾バイパス事業にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

合併建設計画担当課長の大西です。今回から担当が順にコラムを担当することになりました。第1回目として、皆さんに我々の基本的な取組方針をお伝えしたいと思います。

その基本方針とは

- ・ 情報を可能な限り地元の皆さんと共有する
- ・ 皆さんとの関係を緊密化する
- ・ 事業者としての役割と責任を明確にする

です。



「寝耳に水」という言葉に代表されるように、突然事業の計画が発表された場合、住民に感情的なしこりが残り、いつの間にか「ボタンのかけ違い」が生じ、事業が予想以上に長期化する、公共事業ではよくこんなことがあります。

この栗尾バイパス事業は、京都府・国土交通省が過去に調査を行い、京都市と旧京北町との合併建設計画に位置づけられたため事業化されたという経過があり、寝耳に水の事業ではないものの、事業主体が変わったことから地元の皆さんは不安をお持ちであったと思います。

当初の計画段階から我々がかかわっていない分、皆さんとは密に連絡を取り合いながら事業を進めていきたいと考えています。栗尾通信もその一環です。手作りなので若干見づらいところがあるかもしれませんが、我々の取組姿勢が伝わるように、敢えてこのスタイルにこだわっています。

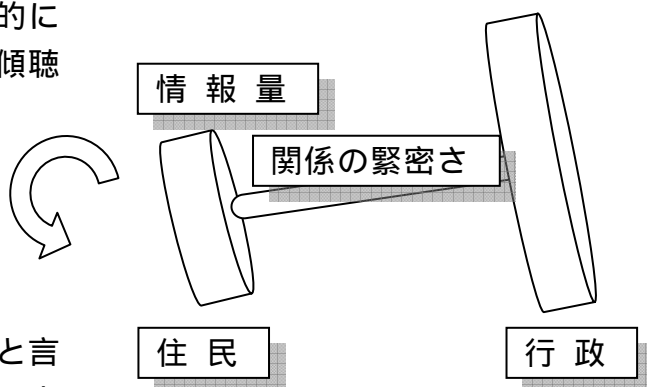
事業を立ち上げる時点では、当然、我々と地元の皆さんとの間に情報量の差はあります。その差を縮める事が相互理解の近道であると考えています。そのために、意見交換会などで、ルートを決定する際の情報を可能な限り皆さんと共有し、総論としては、なるほどと納得していただけるものになりたいと考えています。

皆さんとの関係を緊密化する

昨年、栗尾地区、細野地区の役員の皆さんとトンネルの坑口周辺を歩きました。細野ウォーク、周山ウォークと呼んでいます。これは、我々が知らない地区特有の歴史、その空間の履歴を把握しようとしたからです。

私をもっとも今回皆さんとのウォークや寄合いの場で力を入れていることは「聴く」という作業です。「聞く」ではなく、「聴く」です。「聞く」は受動的なイメージがありますが、「聴く」は漢字を分解すると耳のそばに十四の心があり、十四の心を総動員して相手の伝えたい思いを能動的に受け止めることだとある方から教わりました。傾聴というプロセスです。皆さんからの意見を傾聴し、何故そのような意見が出されたのかを注意深く考え、共に解決策を模索することで関係をより緊密で強硬なものにできるのではないかと考えています。

よく2者の協力関係を例えて車の両輪であると言います。まさにそのとおりです。情報量を車輪の大きさとし、車輪の大きさに差があれば同じところを回って前進しません。また、シャフトすなわち関係が太くなければ力を十分に伝えることができなくなり、折れてしまうことさえあります。



事業者としての役割と責任を明確にする (できないものは、できないと言う)

皆さんの意見を聴いて、できるものを計画に反映することと全て皆さんの意見を聴いたらこういう計画になったというのはまったく違います。意見を聴くにしろ反映させるにしろ我々には事業者としての責任があります。

したがって、皆さんの意見・提案と我々の提案が異なる場合は、お互い納得できるまで議論し、より良いものができるよう時間をかけたいと思いますし、我々が気づいていない重要な提案が皆さんからあればそれは尊重し、事業者の責任で実行に移します。

我々が厳に慎むべきは、実現不可能な提案を強く求められたという理由だけで受け入れることです。そんなことをすれば、実施段階で国や関係機関との協議が整わず、結局皆さんとの信頼関係が崩壊することになるからです。

これまでの細野地区や栗尾地区の皆さんとの協議を踏まえ、3月下旬には大まかなルートを皆さんにお示しできると考えています。興味のある方は大歓迎ですので説明会に参加してください。

(次回は担当係長の西がトンネルにまつわる土や岩の話をしていきます。)

大切なお知らせ！！

栗尾バイパス京都市ルート案説明会開催

栗尾バイパスのルートについて、地域の方々の意見を踏まえて京都市が検討した結果を、京北地域にお住まいの方々、ルート周辺に土地をご所有の方々を対象として、説明会を実施いたします。

『バイパス建設について、どうしても言っておきたいことがある』方も、『よく分からないけど、なんとなく興味がある』方も、皆さん、ご参加ください！

開催日時 平成18年3月21日（火・祝） 午後1時から

開催場所 右京区役所京北出張所（旧京北町役場） 2階会議室

説明会内容 京都市が最終的に最適と判断したルートを示します。

最適ルートに至る、検討過程を報告します。

途中経過報告会でのご意見に京都市の方針を示します。

今後、バイパス事業がどのように進むかを示します。

参加できない方へ 『参加したいけれど、どうしても当日参加することができない』方は、

京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地

京都市建設局道路部道路建設課

合併建設計画担当 西，高橋

075-222-3580

までご連絡ください。

当日の説明内容をお知らせするとともに、必要であれば説明資料をお送りいたします。

時を超え美しく
ひと輝く 歴史都市・京都

京都市建設局道路部道路建設課

TEL(075)222-3580 FAX(075)213-0241

同じです あなたとわたしの 大切さ

平成18年3月 京都市印刷物第173187号